

---

## 米子医学会

---

### 第183回米子医学会例会

昭和58年5月25日

#### 助教授就任講演

1. 標識抗体法による法医血液型判定  
法医学助教授 井上晃孝
2. 白内障および緑内障に関する電顕形態学的観察  
眼科助教授 松浦啓之

### 第184回米子医学会例会

昭和58年7月27日

#### 助教授就任講演

##### 3. 外括約筋部尿道内圧の検討

泌尿器科助教授 宮川征男

正常人では排尿時に外尿道括約筋は電氣的に静止するという周知の事実より、同部の尿道内圧が低下すると考えられている。そこで、特別に試作した二腔式カテーテルを用い調べた結果、正常人では排尿怒責とともに外括約筋部尿道内圧が下降することを確かめた。さらにこの結果をふまえ、排尿怒責時外括約筋部尿道内圧の変化測定の意義を検討した。正常人26例（正常群）と直腸癌・子宮癌術後で外括約筋弛緩不全が考えられる12例（障害群）で、排尿怒責時の外括約筋部尿道内圧の変化を検討した。正常群では26例中25例で圧は下降、一方、障害群12例中11例で圧は反対に上昇した。この結果より、排尿怒責時の外括約筋部尿道内圧の変化を検討することにより、外括約筋の弛緩が正常なのか、弛緩不全なのかを鑑別できると考えられた。